

令和6年第2回環境審議会 会議後質問・意見

No.	委員	案件	意見・質問	内容	回答・事務局の見解
1	瀬沼委員	新たな世田谷区環境基本計画の策定について	意見	「世田谷区環境基本計画」は「総合計画」であり「最上位計画」と位置づけているとのこと説明についてはその通りで、ここは重要だと思います。今後、計画が承認されたのち、広報「せたがや」に計画の概要が掲載されることになると思います。その際には、ぜひ区民の皆さんにこの計画が世田谷区を取り巻く生活環境の基盤となり将来生活の指針となる重要な環境の総合計画であることが認知できるような書き方で掲載をお願いします。	素案に対するパブリックコメント時点及び策定後に、区のお知らせでの広報などでPRの実施を予定しており、その際にはご意見をふまえ、本計画の意義をわかりやすく周知するように努めてまいります。
2	瀬沼委員	新たな世田谷区環境基本計画の策定について	意見	なかなか明確にならない「脱炭素型ライフスタイル」については、区民がイメージしやすい、且つ実践につなげられるように、イラストや図などで具体的なところを提示していくこと必要ではないかと思います。環境の図の生活環境のあたりに、それが挿入できればと思います。	ご意見をふまえまして、ご指摘の「脱炭素型ライフスタイル」について、具体的かつわかりやすいイメージ案を素案の段階で示させていただきます。
3	瀬沼委員	新たな世田谷区環境基本計画の策定について	意見	2050年のターゲットのアピールがまだまだ浸透していないように思われます。区報「せたがや」以外の各種印刷ツールがありますが、読んでもらうには努力が必要です。意見としては、特に都市部では居住者が多いマンションに対して、管理組合に依頼し、共有掲示板等に世田谷区の脱炭素宣言をはじめ環境への取り組みポイントを記載したポスター掲示を依頼することが良いのではないかと思います。それは難しいでしょうか？ 大きい文字の方が人目に付きやすい。冊子、紙ベースの小さな文字は面倒と考えなかなか細部までは読んでもらえませんので、「脱炭素型ライフスタイル」推進アピールについてもポスター掲示を推奨します。出張所や公的機関・世田谷線各駅、学校などにポスターを掲示し、目に触れる機会を増やしていく努力が必要ではないかと思います。	ご意見の通り、区の目標を含めて区民へのアピールが重要だと認識しております。読んでいただくという行動に至るまでのプロセスへのアプローチが不十分だということをご指摘のとおりです。ご提案も参考に、まずは目に触れ、端的に目指すところがわかる広報を検討してまいります。
4	瀬沼委員	新たな世田谷区環境基本計画の策定について	意見	区民の情報環境とのつながり方 ・区民のSNSとのつながりが薄い点が課題 人口96万人に対して、FBは僅か4,279人、インスタグラムも同様少なく3,196人です。Xのフォロワー数も少な過ぎる現状を今後変えていく努力が必要です。 ・学生たちが言うには、役所からの情報発信が弱いのではないだろうか。 若者の情報ツールはスマホであり、生活においてSNSの存在はかなり大きいウエイトを占めています。コミュニティと言えば、学生たちはバーチャルコミュニティ（ネットコミュニティ）をすぐに思い浮かべます。若者に関心をもってもらうためには、SNSの活用が今後さらに必要です。区役所のlineとお友達になった場合には、「せたべい」が付与されるような何かメリットを付けていかないとフォロワー数を増やすことは、今後難しいと思われるのでご検討願います。この点について、どうしたら区のSNSと区民が繋がるのか、区民自身の意見も汲み上げて、対策を講ずることが必要ではないかと思われま。	SNSに関しては、近年、様々な媒体を活用してきているところですが、ご意見の通りさらに有効な活用を図る必要があります。特に若者世代に関しては、従来の広報媒体ではほぼ接点がなく、さりながらWEBメディアでも接点を作れていないと認識しています。ご意見をふまえ、さらに若者の意見なども積極的に伺いながら、より効果的な広報及び双方向のメディアとしての活用を検討してまいります。
5	瀬沼委員	新たな世田谷区環境基本計画の策定について	意見	最近の言葉（カタカナ）や専門用語はなるべく説明（注）を付けて下さい。	ご意見を踏まえて対応いたします。